

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
本庄新都心地区

平成27年3月

埼玉県本庄市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	本庄早稲田駅乗降客数	人/日	4,000	4,800	3,980	確定 見込み ●	×	あり なし ●	4,304	H26年12月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	乗降客数はH21年から増加傾向にある。国の経済政策による景気回復が期待されるとともに居住者数が増加していることから乗降客数についても増加する事が見込まれる。
指標2	地区内居住者数	人	900	1,000	1,044	確定 見込み ●	○	あり なし	1,562	H26年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	戸建て住宅やアパート・マンションの建築が進んでおり、飲食店等の立地も進んでいることから居住者については今後も順調に増加すると見込まれる。
指標3	公園等利用者の満足度	%	0	50	88.6	確定 見込み ●	○	あり なし	88.5	H26年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園や緑地が出来たことに関しては概ね満足の結果が得られたが、遊具や休憩場所の設置について今後検討の余地がある。
指標4	避難地の確保率	%	3.8	5.1	5.1	確定 見込み ●	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧北泉中体育館・プールの解体実施により、避難地が創出された。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業の支援	本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業の施行者であるUR都市機構と連携し、事業の早期完了に向けて地元住民やまちづくり協議会との調整を図った。	平成26年3月7日の換地処分公告をもって、事業完了となった。	基盤整備が完了した後のまちの維持管理。エリアマネジメント実施のための体制の構築。
	環境面に配慮した施策事業の実施	環境アセス結果を事業内容に反映させ、環境対策調整会議(UR都市機構主催)を開催するなど、各事業を実施するうえで環境の保全に十分に配慮した。	原風景との調和、融合した形での事業の展開ができた。	引き続き環境アセスに配慮した各事業の実施。
	地元(各地区まちづくり協議会、地権者)との合意形成	各地区(3地区)においてまちづくり協議会を開催し、今後のまちづくりについて協議をした。必要に応じ地権者説明会を開催した。	各地区で都市計画道路の整備着手やメガソーラー設置による土地利用が進む等、地区の実情に見合ったまちづくりが進んでいる。	個々の事業は進んでいるが、各地区の全体の方針として土地区画整理若しくはそれに替わる整備手法の検討並びに地元の合意形成。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	エリアマネジメント実施に必要な体制の構築	平成21年3月に公募市民による「まちづくり活動勉強会」が設立され、まちの清掃活動やイベント活動を実施した。	活動当初は関係者のみだったが次第に地元住民や進出企業の参加協力が得られるようになった。	活動メンバー、特に地元住民の加入促進。安定した活動が出来るような収入源の確保。組織体制の確立。
	未事業化地区にかかる整備計画策定	各地区(3地区)においてまちづくり協議会を開催し、今後のまちづくりについて協議をした。一部地区では地権者を対象としたまちづくりアンケートを行い、今後の具体的な事業フレームの検討を開始した。	一部の地区については埼玉県が策定した指針に沿った地域整備計画の策定に着手した。他の地区については具体的な整備手法を検討中。	各地区の特性を考慮した具体的な事業フレームの検討、地元の合意形成。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項